

気 づ き シ ー ト

施設名称 ()

プラス要素

マイナス要素

気 づ き シ ー ト

【記入例】

施設名称（ ）

プラス要素		マイナス要素	
(例) 職員・管理者が近所に住んでいるため、すぐにかけつけられる体制にある。	4	(例) 避難経路が1つであるため、経路が断たれると避難所へ避難できない。	3
(例) ○○(資機材)の取り扱いは、全職員が取り扱うことができるようにしてある。	6	→早期避難の検討など	
(例) 自治会等地域関係者と交流の場を持っており、自治会との連絡できる体制にあるため、互いに助け合える関係性を築けている。	7	(例) 資機材○○の管理が非効率。いざという時に出しにくい。	7
→地域との交流を継続し、連絡先が変わる場合には注意が必要		→管理場所の変更を検討など	
(例) 訓練想定外の状況でも、○○がいざという時には使えることが今回の訓練を通してわかった。	7	(例) 玄関先から移動車までの移動には、雨よけがない。	6, 7
→資機材としてのリストアップ		→雨具などの備蓄品の再検討など	
(例) 利用者居室の位置関係と避難誘導時の順番がうまく合っていたため、誘導がスムーズにできることがわかった。		(例) 災害のおそれがある中で、夜勤などで一人の時の災害対応が不安	4
→今後の利用者配置の参考とする		→不安を払拭できるよう研修・訓練の実施等	
		(例) 避難誘導にかかる時間だけでなく、避難させる階での各利用者のスペースについて、明確に決めていないため不安が残った	6, 7
		(例) 施設周囲に協力しあえる地域関係者との関係性が築けていない。	
		→地域との交流の機会を設け、連絡・協力体制の確立	4～6
		(例) 夜間を想定した場合、施設屋外の足元が悪いため、誘導には余分に時間を要することが予想される	
		→避難時間の検証とともに、タイムラインの再検討	6
		(例) 車いす利用者が多いため、車移動時の運搬、避難先で降車し、移動させるときに困る	
		→避難先での課題も見越した計画を練っておく必要あり	6, 7

この欄は、避難確保計画で検討対象に該当しそうな項目の番号や名称などのメモ欄として使用し、計画の見直しに活用